

令和5年度 第1回 浅間小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月12日（金） 午後1時30分から午後3時50分まで
- 2 開催場所 浅間小学校 南校舎2階 会議室
- 3 出席委員 松原 紀彦、高橋 与人、伊藤 元之、市原 美智恵
- 4 欠席委員 押川 英仁、池田 幸子
- 5 学校支援コーディネーター 鈴木 明子、鈴木 由紀
- 6 学 校 泉澤 伸広（校長）、土屋 里佳（教頭）、池野 紀子（教務主任 教育課程担当）、西尾 哲孝（CS担当職員）、大石 文穂（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 大石 文穂
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、松原委員より高橋会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 令和5年度浅間小学校運営基本方針について
- (2) 浅間小学校いじめ防止基本方針について
- (3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数6人のうち4人の出席があり過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

次に、浜松市学校運営協議会規則（第3条目的、第12条守秘義務）の確認と学校運営協議会自己評価実施要項について説明があった。

(1) 令和5年度浅間小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長より別紙資料に基づき、令和5年度学校運営基本方針の昨年度からの変更点などについて、改めて説明があった。

- ・ 本年度の学校教育目標は「自分の良さが輝く学校」であり、その実現に向けて一人一人に寄り添い一緒に考える生徒指導を行っていくことは、昨年度の第2回学校運営協議会で説明させていただいた。そのために、まずは教職員が目指すべき姿として、「子供が何でも話せ、子供と一緒に考える」、「自分の得意教科を軸とし、授業研究を進める」、「前例にとらわれず、子供、地域の実態に沿った教育活動を創造する」、「悩みを一人で抱え込まず、解決まで共に考え合う」の5つを設定した。
- ・ 昨年度の生徒指導対応の中で様々な課題が浮き彫りとなったが、教師も子供と共に考える生徒指導体制を築いていくために、本年度は「子供に応じた柔軟な対応と心のこもった関わり」、「目の前の出来事だけでなく、背景・要因等からの児童理解」、「教育的合理性や根拠のある子供理解による次へつなげる指導・支援」、「プラスの行動を生み出し、ほめることを通して長所を伸ばす指導・支援」、「学年主任を中心とした学年担任制対応」に取り組む。
- ・ 「やさしさいっぱいプラン」では、子どもたちが互いのよさや違いを認め、誰とでも仲良くできるよう「やさしさいっぱい活動」を各学年で年間3時間実施する。
- ・ 「やる気いっぱいプラン」では、本校の児童の「話す・聞く」力や基礎的・基本的な学力、生

活経験の個人差が大きい実態を踏まえ、新たに「自分の考えをもち、整理して表現する力の育成」、「誰にとっても分かやすい授業づくり」、「基礎・基本的な学力の向上」の3点に取り組む。

- ・ 「元気いっぱいプラン」では、栄養教諭を中心にコロナ禍で行うことのできなかった食育指導を行い、健康について深く考えさせたい。
- ・ 教職員と子供が笑顔で明日も来なくなる学校、地域に根差し、地域から愛され、保護者が安心して子供を送り出せる学校となれるよう、地域と連携してコミュニティ・スクールを推進していきたい。

続いて、教務主任より昨年度の学校関係者評価を踏まえた本年度の重点指導項目について説明があった。

- ・ コミュニケーション能力を向上できるような学校行事を通して、ソーシャルスキルトレーニングを行う。相手の気持ちを受け止め、自分の思いを伝えられるよう、やさしさいっぱい活動、学校探検やペア活動などの異学年交流、1年生を迎える会、仲間づくり集会など互いを認め合える交流活動を充実化する。また、つばめ応援団の皆さんや地域の方々との交流を図っていきたくと考えている。
- ・ 効果的なICT活用の推進として、一人一台配備されたタブレット端末を授業でも日常的に使用している。子どもたちは学習の振り返りや意見交流、教員は個々の児童の学習状況の把握、フォローなどに利用している。4月の参観会では実際に子どもたちがタブレットを利用する様子を保護者に紹介できた。今後は家庭へのタブレット持ち帰りのための整備も検討している。

委員からは以下の発言があった。

- ・ 「やる気いっぱいプラン」の中で“誰にとっても分かりやすい授業づくり”とあるが、ICTなどを活用して分かりやすい授業を行うという解釈でよいか。(高橋会長)
→ ICT活用ももちろん一つの手段であるが、高学年になると学力の差が大きくなるため、個人差に対応した授業づくりが必要と考えている。教員の発問の仕方を工夫したり、子どもたちの実態に合わせて内容を砕きながら教えるなど、授業のユニバーサルデザイン化を進めていきたい。(校長)
- ・ コミュニティ・スクールを学校とともに推進する立場の地域として、本年度の運営方針に何か意見はあるか。(高橋会長)
→ 今年は4年ぶりに制限のない浜松まつりが開催され、浅間地区でも子ども会のラッパ隊やお囃子などに多くの子どもたちが参加した。空白期間があり戸惑う子もいたと思うが、上級生が下級生に優しく教えてあげるなどして、皆で楽しむ様子が見られた。今後も地域の様々な行事を通して、学校、子どもたちとコミュニケーションを図れたら良いと思う。(松原委員)
- ・ 教職員と子供が明日も笑顔で来たいと思うような学校にしたい、というお話は素晴らしい。校長先生を中心にお互いを認め合い、褒めあい、良好な人間関係を築ける明るい職場であってほしい。先生方が満たされていれば、3つの合い言葉も自然と子どもたちに伝わり、学校教育目標も実現できると思うので頑張ってもらいたい。(市原委員)
- ・ 伊藤委員はスポーツ少年団で指導をされているが、「元気いっぱいプラン」の食育指導について意見はあるか。(高橋会長)
→ 丈夫で健康な体をつくるためには規則正しい生活を送ることが大切と、少年団の子どもたちにも指導している。朝食はしっかり食べる、夜更かしをせずに早く寝るなど、家庭でも習慣化できるよう協力してもらうことが必要と感じる。(伊藤委員)
→ 学校では食育指導の一環でトウモロコシの皮むきや空豆のさやむきなどを子どもたちに体

験させていたが、近年はコロナ禍でできていない。また、懇談会も開催できなかったため、学校と家庭の連携が充分にとれていないのが残念である。本年度は制限されていた教育活動を徐々に再開させ、家庭との連携を図っていきたい。(校長)

→ 学校任せにせず、家庭、地域が協同し、全体でフォローすることが重要と感じる。(高橋会長)

(2) 浅間小学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、校長より別紙資料に基づき、浅間小学校いじめ防止基本方針について説明があった。

- ・ いじめは誰にでも起こりうるものと捉え、学校全体でいじめを許さない雰囲気をつくることが重要である。また、いじめを受けた子どもの立場に立つこと、校内いじめ対策委員会を活用して学校全体で問題に対応すること、犯罪行為があった場合には被害者に配慮の上、警察と連携し対応することも必要と考えている。
- ・ 学校では、毎週月曜日の職員会議で子どもの変わった表れを見逃さないよう教職員間で共通認知し、いじめの早期発見に取り組んでいる。地域・家庭と連携しながら対応にあたるよう教職員に指導している。今後、重大事態が発生した場合には、学校運営協議会からも意見をいただきたいと考えている。
- ・ また、生徒指導主任が中心となり、年間を通じて「やさしさいっぱい活動」を実施し、いじめ防止に取り組んでいく。その他、さらに、日々子どもとコミュニケーションを取りながら、定期的なアンケート調査、個人面談等で子どもが困ったことを言い出しやすい環境づくりを整備している。その他、教育委員会や医療機関、人権擁護機関などとも情報共有体制を構築し、外部相談窓口を子どもや保護者に周知していく。

委員からは以下の発言があった。

- ・ アフターコロナで環境や行動が変化する中、最近の子どもたちの様子はどうか。また、小中学校での連携体制はあるのか。(高橋会長)
→ 皆仲良くのびのびと学校生活を送っているように見えるが、元気のない子はいないか、困っていそうな子はいないかなど、毎日校内を巡回して子供たちの様子を確認している。連携に関しては、中学校への進学時に6年生職員が中学1年生の生徒指導担当の先生へ記録の引き継ぎをし、配慮が必要な点について説明を行っている。また、保護者と教職員の距離がもう少し近くなり、気軽に何でも話せる関係性が築けると良いと感じている。あわせて地域との繋がりももう一度見直していきたい。(校長)
- ・ スポーツ少年団の指導の中でも、「人には優しく、自分には厳しく」を心掛けるよう話をしている。自分がしたことは自分に返ってくるものだから、困っている人がいたら優しくできるようになってほしい。(伊藤委員)
- ・ 地域の方々にも子どもたちに日々声掛けをしていただきながら、お気づきの点があれば学校までご連絡いただきたい。(校長)
- ・ 重大事態を回避するためには初動の対応が重要であり、そのために普段から何でも言える関係を構築しておかないといけないと感じている。(高橋会長)
- ・ 保護者の方には学校に足を運んでいただきたい、また校外でも子どもを見かけたら挨拶するなど気軽に声掛けをしていただきたい。(校長)

(3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、夢育やらまいか事業に対する意見書について、学校運営方針の重点「やさしさいっぱい活動」を充実させるために予算を使いたい旨の説明があった。

その他連絡事項等

・ 次回開催日時について

司会から、第2回協議会は令和5年9月22日（金）午後2時30分から、南校舎2階会議室で開催する旨の連絡があった。

・ 第2回協議会の議長選出と熟議内容について

司会から、次回協議会の議長の選出について委員に意見を求めたところ、高橋会長より伊藤副会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。なお、高橋会長より次回の熟議内容について、意見を求める発言があった。委員より以下の内容の提案があった。

- ・ 「やさしさいっぱい活動」の充実化
- ・ タブレット端末の活用強化
- ・ 浅間つばめ応援団のボランティア活動内容および人員増強